

●いつから・・・・・・火急 1年間の実証実験後 5カ年計画で全国各県にて実行

◆実証実験を行う：

火急に1年間、東京都近郊県にて（千葉県・埼玉県・神奈川・茨城 等）の1県において実証実験を行い、新規雇用用の技能伝承とその実施、それら失敗の連続を成功への道筋として確認し、5カ年計画として実行希望。

◆高齢者・主婦・身障者 の雇用の促進は、少子高齢化社会へと突入する日本の将来の礎となり、その手法と行方を「世界中が参考」とすべく注目している。

火急に国と県民、地域民が成功するための実証実験が不可欠。

「高齢者・女性・身障者への職場の提供」と

「各地域の古文書の大切さ」

双方の実現と成功、その他の仕事の受注に繋げる。

◆働けない理由：

（働こうとおもえば、健常者と一緒に少しは働ける、という方含め）

仕事不足 職場不足 募集不足 仕組み不足（教育システム） 集まる場所不足 相談する人不足

個々の都合の調整（勤務時間等の調整）を受け入る職場不足 個々の適性を確認して仕事をあてがう組織 の不足

◆働かない理由 （さらに 要 調査 ・ 要 証拠）

高齢者・女性・身障者の制度で不利なため

高齢者において、 年金受給者が現金受給を追加された場合における手間や不利益をさける。

女性において、 配偶者免除の税制により、不利益をさけるため、働きすぎないように考慮される。

身障者において、 健康に働けた場合に生じる優遇処置の軽減（不利益）をさける。 等が意見として収集。

◆「各県毎に相乗的に養成してゆく仕組み」 の基本となり、

「技能の伝承」が、未来永劫 「継続される仕組み作り」と考えると、早ければ早いほど良い。